

論点メモ（案）

1. 健康診査の実施について

(1) 健康診査の実施の目的、意義についてどのような共通認識を持つべきか。

- ・生涯にわたる国民の健康の増進
- ・制度間における整合性等

(2) 健康診査における検査項目、検査方法を定めるにあたって考慮すべき事項は何か。

（考慮事項の例）

①各制度の目的

②ライフステージごとの健康課題

③科学的根拠とそのレベル

- ・疾病の予防や発見における有益性（個人、集団）
- ・検査を行うことによる集団における死亡率減少等の有効性
- ・費用対効果

④必要に応じた健診項目の見直し

等

(3) 健診実施主体間でそれぞれ異なっている問診項目、健康診査結果の評価（用語、判断基準）等についてどのように考えるか。

2. 健康診査の精度管理について

- (1) 精度管理の意義をどのように考えるのか。
 - ・ 検査結果の正確性という観点
 - ・ 検査結果が比較可能という観点等
- (2) 検査実施主体は、適切な内部精度管理を行い、また、外部精度管理を受ける必要があるのではないか。
- (3) 内部精度管理として実施すべき項目は何か。
(項目の例)
 - ・ 業務の管理体制
 - ・ 検査方法及び検査手順
 - ・ 検体の採取条件及び採取方法
 - ・ 検査における安全性等
- (4) 外部精度管理事業を行っている機関は、現在複数あり、それぞれで実施方法、実施項目が違っているが、これらにどのように対応すればよいのか。